

第2回校内研修会 外国語研修会

これからの小学校外国語教育

August 27, 2020
Ryo Fujita

CONTENTS (Theory)

1. 外国語教育における指導者（HRT）の役割
2. 授業づくりにおけるポイント ～言語活動例～
3. 文字の取り扱い・「読むこと」「書くこと」
4. 英語運用能力の向上 ～Classroom English～

1. 外国語教育における 指導者（HRT）の役割

1. 外国語教育における指導者（HRT）の役割

①児童へ安心感を与える

- 「間違えても大丈夫！」という学級の雰囲気
- 「ほめる英語」を繰り返し用いて励ます

⇒詳細は4. Classroom Englishで



1. 外国語教育における指導者（HRT）の役割

②コミュニケーションのモデルを示す

HRT・・・英語学習者の一人として
児童とともに英語を使い学ぶ存在

◎ALTとも堂々と英語を使って話す姿を見せる

○ALTの後に発音や表現を真似て言うなど
常に児童と同じ目線・スタンスで取り組む

（実践例）HRT→ALTに英語で尋ねる姿を示す



「花火は英語でなんて言うんだろう？」

中学年… “*Hanabi in English, please.*”

高学年… “*How do you say Hanabi in English?*”

繰り返しHRT自らが「英語を使うモデル」を示す
⇒児童も同じ表現でALTに尋ねるようになっていく

2. 授業づくりにおける ポイント ～言語活動例～



外国語活動・外国語科 目標

<外国語活動>

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

<外国語科>

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 授業づくりにおけるポイント ～言語活動例～

<外国語活動や外国語科における言語活動とは>

「実際に英語を使って互いの
考えや気持ちを伝え合う」活動

△パターン化したやり取り

△言語材料について理解したり練習したりするための活動

△日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動

(言語活動を通しての具体例①) Small Talk

概要：LIVEで子どもが本当のことを聞いたり
言ったりする活動

目的: (1) 既習語句や表現を繰り返し活用し,
自分の考えや気持ちを伝え合わせる

(2) できるだけ対話を続けさせる

Small Talkの例

A: What sport do you like?

B: I like soccer.

A: You like soccer?

That's nice. Why?

B: It's fun. How about you?

What sport do you like?

好きなスポーツについて

A: What food do you like?

B: I like watermelon.

A: Me, too. Why?

B: It's sweet.

How about you?

好きな食べ物について

Small Talkの進め方

話題の提供
言い出し方の提供

①HRTとALT/児童で簡単なやり取り

②児童と児童でやり取り

まずは、やらせてみる
(語句や表現の選択・決定)

③中間評価・指導
(省察)

• 言えなかったことを、既習表現に結び付けられるよう指導者がヒントを出す
• みんなでどう表現するばよいか考える

④相手を替えて児童と児童でやり取り

よりよいやり取りを試す
(語句や表現の選択・決定)

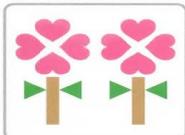
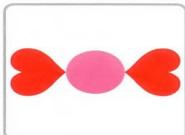
対話の開始	Hello./How are you? I'm good. How are you?
繰り返し	相手:I went to Tokyo. 自分:(You went to) Tokyo.
一言感想	That's good./That's nice. Really?/That sounds good.
確かめ	Once more, please.
さらに質問	相手:I like fruits. 自分:What fruit do you like?
対話の終了	Nice talking to you./You, too.

(言語活動を通しての具体例②) デジタル教材の活用

Unit 7

Let's Listen だれの作品かさくらを聞いて、線でおすぼう。

1  2  3 

Let's Try! | Unit 7 Let's Listen (p.29)

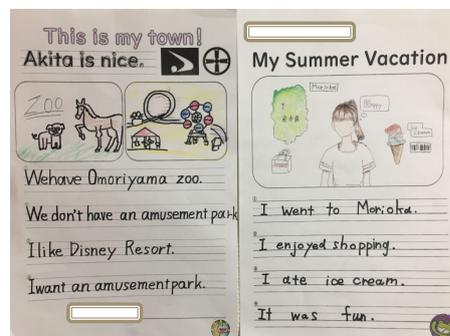
“Repeat after me.”は楽ですが…

- △児童が本当に「考えて」発話していない
- △繰り返しやっているだけでは、飽きてしまう

※言語材料についての反復練習だけで
その日の授業が終わることのないように留意する

☆自分の考えや気持ちを、簡単な語句や
基本的な表現を用いて伝え合うことが大切

3. 文字の取り扱い 「読むこと」「書くこと」



言語習得のプロセス



☆聞いたり，話したりする
音声の十分な慣れ親しみが大切

段階的な文字指導のイメージ



【外国語活動】
“I like cats. / Do you like cats? / I have a cat”
などさまざまな活動の中で猫＝キャットという表現に
聞いたり話したりして，音声で十分に慣れ親しむ



【外国語科】
「cat」という文字を見ただけでも猫という意味を理解

<読むこと>

- ・パンフレットから「cat」の情報を得る
- ・絵本の中から「cat」を識別

<書くこと>

- ・「cat」を書き写す
- ・例文を参考に語群から「cat」を書く

<読むこと>

ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

<書くこと>

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

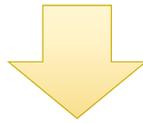
イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて書くことができるようにする。

いきなり英作文を書くの？		～昨年度実践例～
	例文例	ワードボックスから選んで 書き写す語句・基本的な表現例
第1時	I went to (the sea).	the mountain, the river, Tokyo等の場所・地名
第2時	I went to (the sea). It was (fun).	(第1時の語句に加えて) exciting, good, nice, great等の 形容詞
第3時	I went to (the park). It was (nice).	
第4時	I ate (pizza). It was (delicious).	seafood等の名詞, delicious, sweet等の形容詞
第5時	I enjoyed (fishing). It was (exciting).	swimming等のしたこと, fun等の感想
第6時	I went to the sea. It was exciting. I enjoyed fishing. It was nice.	前時までに空所補充の形式で書き写 してきた英文を見ながら書き写し, 日 記に清書する

4. 英語運用能力の向上 ～Classroom English～

4. 英語運用能力の向上 ～Classroom English～ Classroom English

目的：△児童のリスニング能力を飛躍的に向上



- ◎「英語の授業の雰囲気づくり」として
- ◎コミュニケーションのモデルを示すため

☆授業中の指示や質問にできるだけ
教師も英語を使うように努力したい

Classroom Englishを用いる際の留意点

- ①児童の理解の程度を一文一文確認しながら
- ②ゆっくり、はっきりと言うように心がける
- ③簡単な文で、たくさんの指示や長文を避ける
- ④新出の表現は何度か聞かせるとともに
動作を加えたり、絵を描いたりして工夫する
- ⑤文頭や文末にpleaseを加えて指示を出す

ほめる (PRASING)

1	正解です	That's right!
2	よくできました	Good!/Great!/Good job!/Well done!
3	いいアイデアですね	Good idea!
4	素晴らしい/いいね	Wonderful!/Excellent!/Fantastic/ Super!/Perfect!/(That's)Nice!
5	がんばりましたね	You did a good job!
6	おめでとう	Congratulations!
7	よくやっていますね	You're doing [fine/well/great].
8	(どうも) ありがとう	Thank you (very much)./Thanks (a lot).
9	[彼/彼女] に拍手しましょう	Let's give [him/her] a big hand.
10	手伝ってくれてありがとう	Thank you for your help.

令和2年度 校内研修会
外国語・外国語活動

実践編

Ⅰ はじめに

外国語との出会い

- ・人前で英語を話すことへの不安
- ・文字に対する不安

音声を中心とした
体験的なコミュニケーション活動

子どもの不安
体験してみませんか？

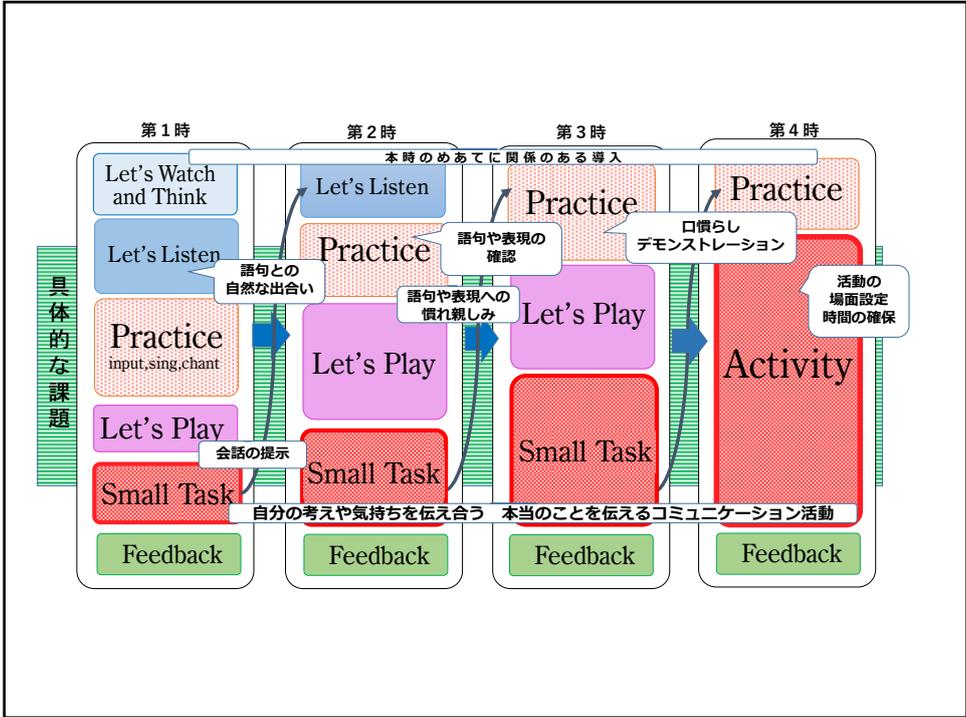
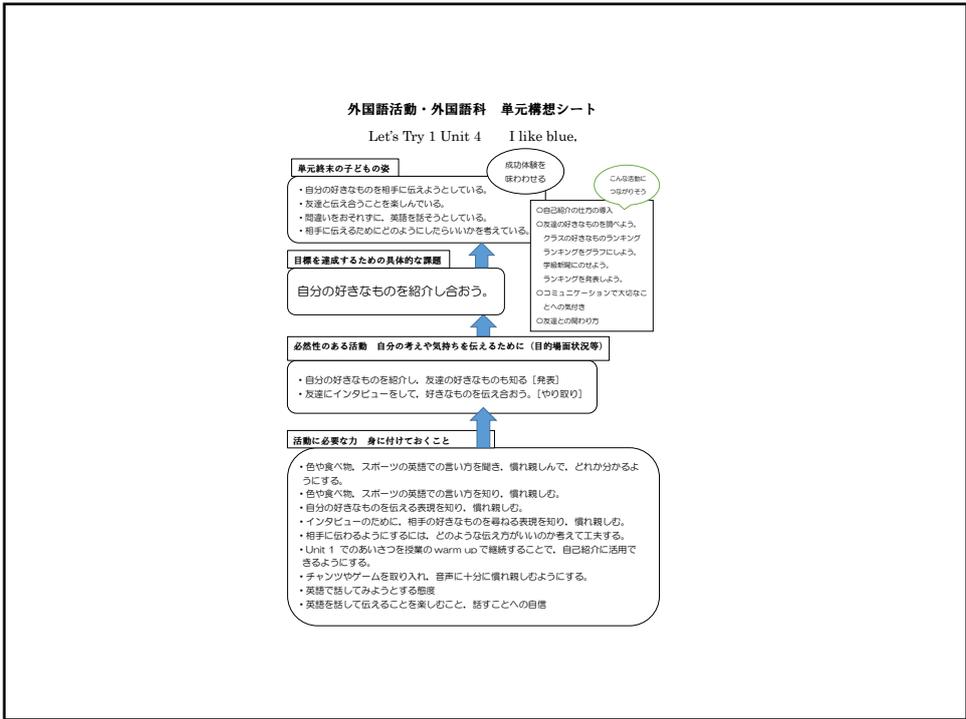
2 クラスルーム イングリッシュ

- 英語だけで話そうとするより、日本語の量を減らそう。
- よく使う表現を正しく使おう。
- 教師がかわっても、子どもが戸惑わないようにしよう。

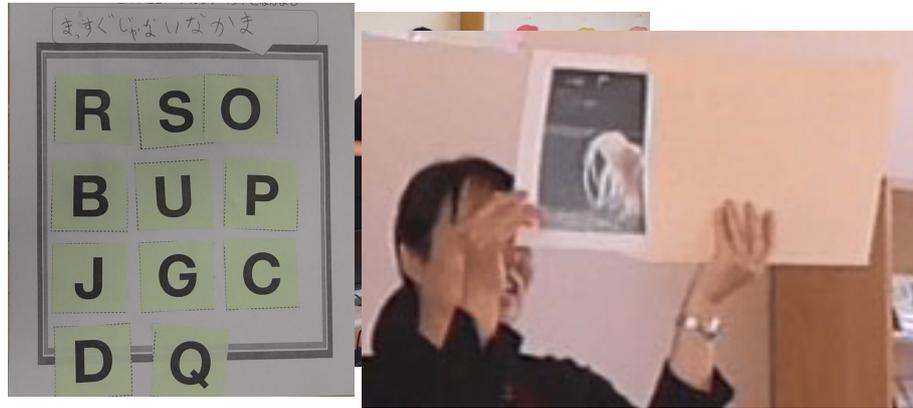
ALTとHRT

- ALTにどのような活躍の場をつくれますか？
- ALTとどのような分担をしますか。

3 単元計画と教材



教材の作り方



教材の作り方

- 教具を増やすことより、
使い方のバリエーション
を増やす。
- どのくらい作るかではな
く、どう使うのか。

4 ゲーム チャンツ 歌 絵本の読み聞かせ

授業実践から



チャンツ

- 日本語と英語のリズムの違いに気付き，言い慣れる活動
- 言い慣れた単語を使う。

5 コミュニケーション 言語活動

コミュニケーション活動



実践授業から

- 第3学年 新学習指導要領移行期間 年間15時間
- Let' s try! Unit4, 「自分の好きなものを紹介しよう」 6 / 15
- 絵本の活用 (絵本+やり取り)
- 色, フルーツ, スポーツ, I like~

- Let' s try! Unit8, 「クイズ大会をしよう」 11 / 15
- 読み聞かせ+クイズ+やり取り+input
- リアクション
- 数, 動物, 野菜, what's this?

5 「読む」「書く」って 何をするの？

「読むこと」「書くこと」

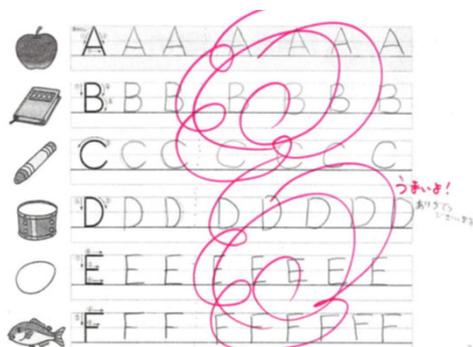
- 聞くこと……理解できるようにする。
- 話すこと……話すことができるようにする。

- 読むこと……興味を育てる
- 書くこと……興味を育てる

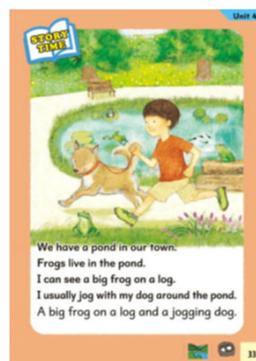
「書くこと」に求められていること

- アルファベットの大文字と小文字を4線の上に書けるようになる。
- 十分に言い慣れた基本的な表現や語句を、書き写すことができる。
- ▲つづりを覚える
- ▲話すために原稿を書く
- ▲語句や文だけを書く活動をする。

大文字、小文字を活字体で書くことができる。



英語の自然な音声を繰り返し聞き，絵を手掛かりにその意味や内容を推測したり，文字と結び付けたり，単語や文，語順などの認識を深めたりする。

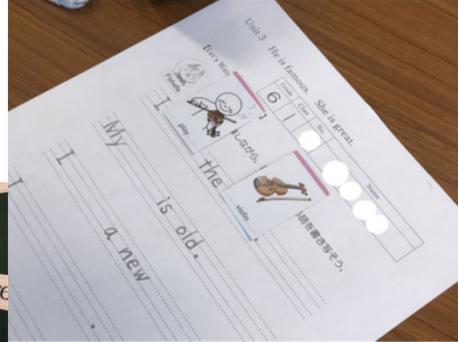


音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を，ワークシートに語順を意識しながら書き写したり，友達が書いた文を読んだりする。

My Summer Vacation

- ① I went to Nagano.
I went to Nagano.
- ② I enjoyed cooking.
I enjoyed cooking.
- ③ I ate Tonjiru.
I ate Tonjiru.
- ④ It was delicious.
It was delicious.

語順を意識するための活動



5 評価について

知	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。	コミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。

1学期	外国語	科	評価項目	令和2年度	6年生		
1	★		外国語の音声や文字、基本的な表現に慣れ親しもうとする。			☆	
2	○		ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な単語や基本的な表現を聞き取ることができる。			聞く	知・技
3	○		A～Zまでの活字で書かれた文字を識別したり、その読み方を発音したりすることができる。			読む	思・判・表
2学期	外国語	科	評価項目	令和2年度	6年生		
1	★		慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。			☆	
2	○		ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。			聞く	知・技
3	○		日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な単語や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。			話す(やり取り)	思・判・表
4	○		音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語や基本的な表現の意味が分かる。			読む	知・技
5	○		語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語や基本的な表現を書き写すことができる。			書く	知・技
3学期	外国語	科	評価項目	令和2年度	6年生		
1	★		慣れ親しんだ表現や自分の知る範囲の語彙を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用しようとする。			☆	
2	○		ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を伝えることができる。			聞く	思・判・表
3	○		自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な単語や基本的な表現を用いて話すことができる。			話す(発表)	知・技
4	○		音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語や基本的な表現の意味が分かる。			読む	知・技
5	○		自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語や基本的な表現を用いて書くことができる。			書く	思・判・表

